



大阪部会(第 37 回)

日 時: 2014 年 2 月 15 日(土) 18:00~20:10

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

【内容要旨】 第 37 回の大阪部会の出席者は 14 名。

(1)まず、経済教育ネットワーク野間敏克理事(同志社大学)から、東京・札幌の部会やワークショップなどの、最近の活動報告があった。2月1日(土)の札幌部会資料からは、山崎辰也氏(北見北斗高校)の「郡部と都市部の生徒は農業問題をどう見ているか」などが紹介された。なお、今回の大阪部会と同日に予定されていた川口ワークショップは積雪による交通の乱れのため中止された。

(2)次に山本雅康氏(奈良学園中学校高等学校)から、時事問題の教え方についての授業実践が報告された。生徒に新聞から関心ある記事を選ばせ、それを要約し、意見を考え、1分間でスピーチさせる、聞いている生徒にも感想を書かせる、など、いろいろなステップで様々な言語活動を行わせる仕掛けになっており、充実した内容となっている。あわせて、生徒が住んでいる地域について調べさせ、問題点をあげその解決策を提案させる授業例も報告された。こちらでは自分のたどった調査経過を、あとで振り返り整理することも行われている。

(3)関連して河原和之氏(立命館大学ほか)からも、「新聞記事から発掘するネタ」として新聞を授業で活用した実践例が報告された。今年も夏に開催される「先生のための夏休み経済教室」でも、新聞の使い方について報告・議論する時間がもうけられる予定である。

(4)河原氏からは、日本経済教育センターで加藤一誠氏(日本大学)とともに開発している「地理と経済の融合教材~BRICs 諸国を中心に~」の一部が、先月に引き続いて紹介された。インドについての教材はほぼ完成しており、教師向けのガイドをこの後作成予定とのことである。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2014 年 4 月 19 日(土)、時間は 18:00~20:00、場所は未定。